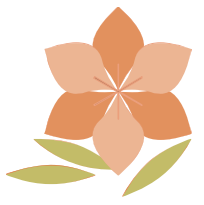


『きたはなプロジェクト』について



美しい道路景観を目指して

『きたはなプロジェクト』は網走市と世界自然遺産 知床を結ぶ国道244号に「知床へのエントランスにふさわしい景観を創りたい！」という地域の有志の声から、平成17年に始まりました。



平成17年から取り組みを継続しています

『きたはなプロジェクト』では、活動範囲全体へ花を行き渡らせる『1stステージ』と、より美しい景観を目指し花の数をさらに増やす『2ndステージ』の2段階で活動を進めてきました。

1stステージ前期
H17～H22

北浜地区の自生種の特徴や育て方を研究し、地域の皆さんと移植活動を開始しました。

1stステージ後期
H23～H27

移植活動の参加者と移植する花の数を徐々に増やし、H27年に活動範囲全体へ花を行き渡らせることができました。H27年から小学生も移植活動に参加しています。

2ndステージ
H28～現在

美しい景観を目指し花の数をさらに増やしながらか、咲いた花を多くの方々に見てもらえるよう情報発信を実施しています。

地域・教育機関・企業・行政が一体となって進めています



【プロジェクト参加団体】

網走南部地区自治会連合会（北浜自治会）、網走市立白鳥台小学校、東京農業大学、オホーツク21世紀を考える会、網走・明日を拓く道の会、網走市観光協会、網走市、網走開発建設部

【問合せ先】『きたはなプロジェクト』事務局
網走開発建設部 道路計画課 ☎ 0152-44-6510